

# ステーションサービス LINE

No. 241

発行 2025. 3. 12  
東日本旅客鉄道労働組合  
ステーションサービス協議会

申2号

「2025年度賃金引上げ等に関する申し入れ」第1回交渉を行う！

3月12日、第1回交渉を実施！！

ステーションサービス協議会は、25春闘団体交渉に向けてアンケートを行いました！  
アンケートに届いた組合員・社員の声を会社に訴えてきました！

## 【生活実感】

- ・基本給の水準が低い ・月給で貯蓄する余裕が無い。 ・一人暮らしや結婚はとても無理だ！
- ・扶養手当があるとはいえ、それだけでは全く足りない。現状の賃金で子育てをできるか、不安。休暇制度だけでなく、金銭的にももっと手厚くなってほしい。
- ・うつ病になりかけるぐらい、将来が不安。 ・給与が少ないため、引きこもることが増えた。
- ・30代で手取り20万前半は厳しい。
- ・副業をできるようにしてほしいと意見交換会で聞いたら、「力が有り余っているのか？」と経営幹部に言われた。

## 【労働実感】

- ・1人勤務駅では負担が大きすぎる。異常時の放送やお客さま対応・お体の不自由なお客さま対応など1人で完璧にこなすのは無理。
- ・1人勤務駅ではサポートコールシステムなどにすぐ呼び出されたり、輸送障害時には休憩時間が無くなるが多々ある。
- ・サポートコールの呼び出しを気にしながら休憩するため業務から完全に切り離せておらず、疲労感が増す。
- ・昇給ができない社員が多く、退職者も多い。社員が定着しないため、社員一人当たりの労働密度だけが上がっていく。
- ・退職者の中には、同業他社への転職者もいる。せっかく育てた優秀な社員が、同業他社へ流出している。
- ・要員不足で特休の買い上げや突発で他ブロックへの応援に行くこととなり、3徹が常態化している。
- ・休暇制度の充実に伴って、業務量の配分が難しくなっている。



会社

皆さまの尽力には感謝している。今日出された意見は重く受け止める。  
賃金の引き上げは長期的な経営に影響を与えるので、総合的に勘案し慎重に判断する。

JESSの賃金向上も含め声を集めてます。

お問い合わせや声は、JR 東労組 HP のお問い合わせフォームまで

ステーションサービスで働く者の声を JR 東労組に集めよう！